



みんな なかよく げんきに のびよう

三つの宝「①つくしくまわりを ②がおてあいさつを ③ちんとくつならべ」

令和6年度 第38号
熊本市立植木小学校
令和6年10月15日
校長 東田 昌樹

不審者対応は、防犯用の「スプレー」が適しています。

9月6日(金)に「不審者対応避難訓練」をしました。(少し前のことですみません。)

元警察官であるスクールサポーターお二人においていただき、不審者役をしていただきました。6年生の教室に不審者が入ってきた想定で、訓練をしました。

子どもたちは自分の身を守り、逃げます。不審者からできるだけ遠ざかります。教室の鍵を施錠します。職員は子どもたちを守る者、不審者に対応する者に分かれて動きます。

この不審者対応避難訓練は、子どもたちのための避難訓練というより、職員のための避難訓練の要素が大きいです。

職員は「さすまた」という先の方が「U」の字の形をした道具を持って、不審者に対応します。そして、対応した職員の中には「ハチよけスプレー」を持って駆けつけた者もいます。

この「ハチよけスプレー」で不審者に対応することは、昨年度、スクールサポーターの方から教えてもらいました。不審者と一定の距離をとって噴射できるので、不審者への対応に向いているとのこと。正当防衛になるので、躊躇なく不審者に噴射していいのです。訓練では噴射する真似までしました。

昨年度のスクールサポーターの講話を受けて、学校で「ハチよけスプレー」を10本購入しました。教室に備えています。

この日の避難訓練の後、子どもたちは体育館に集まって、スクールサポーターの方からお話を聞きました。「いかのおすし」・・・ついて「いか」ない、車に「の」らない・「お」おごえをだす・「す」ぐにげる・おとなの人に「し」らせることを改めて学びました。

同じ時間、半数の職員が職員室に集まりました。もう一人のスクールサポーターの方の講話がありました。「さすまた」の使い方を学んだ後、「ハチよけスプレー」が効果的だという話を今回も改めて聞きました。

そして、さらに「クマよけスプレー」が強力だという話を聞きました。防犯用の「催涙スプレー」よりも強力で、噴射されたら目を開けていられなくなるということでした。

「クマよけスプレー」は、本来、クマに使用するもので、人間に使用するのは危険です。しかし、凶器を持っている不審者、人に対して危害を加えようとする不審者に噴射することは、法的にも認められる正当防衛となります。

そのような理由で、個人で「クマよけスプレー」を購入しました。校長室に備えています。子どもたちを守るためのものです。



【本校の教育目標】

気づき・考え・行動する自立と共生の力を備えた子どもの育成
～ どの子ども大切にされ、どの子ども成長する学校をめざして ～

